5

君死にたまふことなかれ（詩碑）

あゝをとうとよ、君を泣く、
君死にたまふことなかれ、
末に生れし君なれば
親のなさけはまさりしも、
親は刃（やいば）をにぎらせて
人を殺せとをしへしや、
人を殺して死ねよとて
二十四までをそだてしや。

掲出歌集　『恋衣』明治38（1905）年1月
初　出　「明星」明治37年 9月号（晶子26歳）

・所 在 地　大阪府立泉陽高等学校内庭（堺区車之町東３丁２－１）
　　南海高野線堺東駅より北西徒歩 13 分
・建　　立　昭和 46 年 10 月 2 日　同校同窓会
・デザイン　白石正義
・連 絡 先　大阪府立泉陽高等学校　072-233-0588

泉陽高等学校70周年記念行事の一環として、晶子の真実の声を伝える碑をということで「君死にたまふことなかれ」の詩が選ばれた。

この詩は、日露戦争に出征した最愛の弟への思いを詠んだもので、一個の人間の真実の叫びであり、時代を超え国を超えて人々の心をゆり動かす力をもっている。

泉陽高等学校は、かつては「堺女学校」と呼ばれていた。晶子は明治21年（1888）～27年の間ここで修身、算術、地理、歴史、読書、習字、家政を学んだが、裁縫がおもな授業であったことが晶子にとっては不本意であった。

なお、見学は、事前に連絡すること。

※「君死にたまふことなかれ」の詩碑は、本校以外に2基あり、いずれも「みだれ髪の会」代表、富村俊造氏が建立している。平成6（1994）年11月、立命館大学平和ミュージアムに、1999年6月、中国大連市遼寧師範大学にそれぞれ建立。〈全文は58頁〉